

開講期	2025年度後期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	3112 発達心理学A			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	人数制限(抽選)			定員	106
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	水曜2限				
教室	H302教室				
代表教員	常田 秀子				
担当教員	常田 秀子				
テーマと到達目標	乳児期・幼児期の対人関係や言語・認知の発達の理解を深めることを主要な目的とし、乳幼児期がその後の児童期・思春期とどのように関連するか、また、乳幼児をそだてる親世代の心理発達などについての理解を深める。 本授業を受講することで、それぞれの発達段階での重要な経験について理解し、自分や身近なひとの発達の経路を考えることができるようになる。				
概要	①発達とは何か、②胎児期・新生児期発達、③乳児期の発達、④幼児期前期、⑤幼児期後期、⑥児童期～青年期、⑦成人、⑧人間発達のしくみ、⑨発達と文化、⑩発達の支援、などのテーマについてそれぞれ1～2回の授業で論じる。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員(複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	発達心理学Aで学ぶこと				対面授業
第2回	乳児期の対人関係				対面授業
第3回	乳児期の思考と言語				対面授業
第4回	幼児期の認知				対面授業
第5回	幼児期の対人関係と自我の発達				対面授業
第6回	児童期の認知と思考の発達				対面授業
第7回	児童期の対人関係と自我の発達				対面授業
第8回	思春期・青年期の認知発達				対面授業
第9回	思春期・青年期の対人関係と自己				対面授業
第10回	親になること				対面授業
第11回	中年期の心理				対面授業
第12回	老年期の心理				対面授業
第13回	発達と学習の諸理論				対面授業
第14回	発達と文化				対面授業
第15回	発達を支援する				対面授業
成績評価の基準	毎回の授業の出席と課題が60%、期末レポート40%で成績を評価する。6回以上課題の期限内に提出されない場合は、単位は出さないので注意すること。				
履修にあたっての留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子ども教育専修の学生は「3401 発達心理学」を受講してください。本科目を登録しても単位は出さないので注意してください。</li> <li>・ 資料配信、課題提出、授業に関する連絡、質疑応答については、原則的に和光ポータルを用いる。</li> <li>・ 毎回の課題の提出は、土曜日の正午を締め切りとする。</li> </ul>				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					

【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件	下記順位のとおり優先する [1]公認心理師（学部）取得プログラム受講者 [2]P学科 [3]上記[1][2]以外
---------------------	---

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	特になし		
教科書	授業内で資料を配布する	教科書(ISBN)	
参考文献	「問いからはじめる発達心理学 一生涯にわたる育ちの科学」 坂上, 裕子 / 山口, 智子 / 林, 創 (著) 有斐閣	参考文献(ISBN)	『問いからはじめる発達心理学』 [9784641150133, <a href="https://elib.maruzen.co.jp/elib/html/BookDetail/Id/3000017892">https://elib.maruzen.co.jp/elib/html/BookDetail/Id/3000017892</a> ]